

令和6年度 測量士試験 問題と解答 午前 No28 (応用測量)

<R06-No28 : 応用測量 (河川) : 問題>

次の a～e の文は、公共測量における河川測量について述べたものである。明らかに間違っているものだけの組合せはどれか。次の1～5の中から選べ。

- a. 距離標設置測量の観測には、トータルステーションを用いる放射法、RTK 法、ネットワーク型 RTK 法などを用いることができる。
- b. 水準基標測量は、2級水準測量により行うものとする。また、水準基標の位置を示すため、点の記を作成する。
- c. 定期縦断測量は、山地においては3級水準測量により行うものとするが、地形、地物等の状況によっては、3級水準測量に代えて4級水準測量により行うことができる。
- d. 定期横断測量は、水際杭を境にして、陸部及び水部に分け、陸部については路線測量の横断測量の規定に準じて行い、水部については深淺測量の規定に準じて行う。
- e. 深淺測量における水深の測定は、電波式水位計を用いて行うものとする。ただし、水深が浅い場合は、ロッド又はレッドを用い直接測定により行うものとする。

- 1. a, c
- 2. a, d
- 3. b, d
- 4. b, e
- 5. c, e